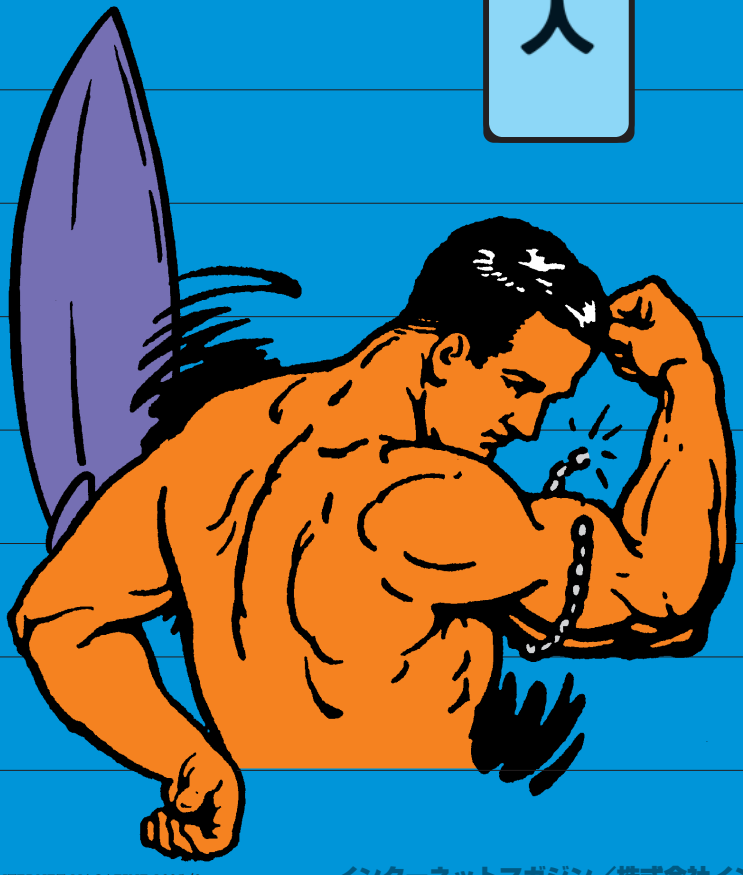
ネットサーフィンの達人



インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

Copyright © 1995 Netscape Communications Corporation

特集：Netscape自由自在

Netscapeはいま最も高性能なWWWブラウザー。その入手から使いこなしまでを完全ガイド。

ネットサーフィンの達人を目指すなら、まずは、道具にこだわることから始めよう。写真家がカメラを選ぶように、料理人が包丁を吟味するように、ネットサーファーならばサーフボード「WWWブラウザー」にぜひともこだわりたい。優れた道具を選び、その使い方をとことん追及することは、業を極めるための第一のステップと言うことができる。

そして第二のステップは、選びぬいた道具を徹底的に知り尽くすことだ。ふだん何気なく使っているツールでも、あらためてその機能を検証してみると、きっと新しい発見があるはずだ。

大切なのは、まず最初の一歩を踏み出すこと。いますぐ、サーフボードのチューンナップを開始しよう。

金子 誠＋編集部

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

だからNetscape。

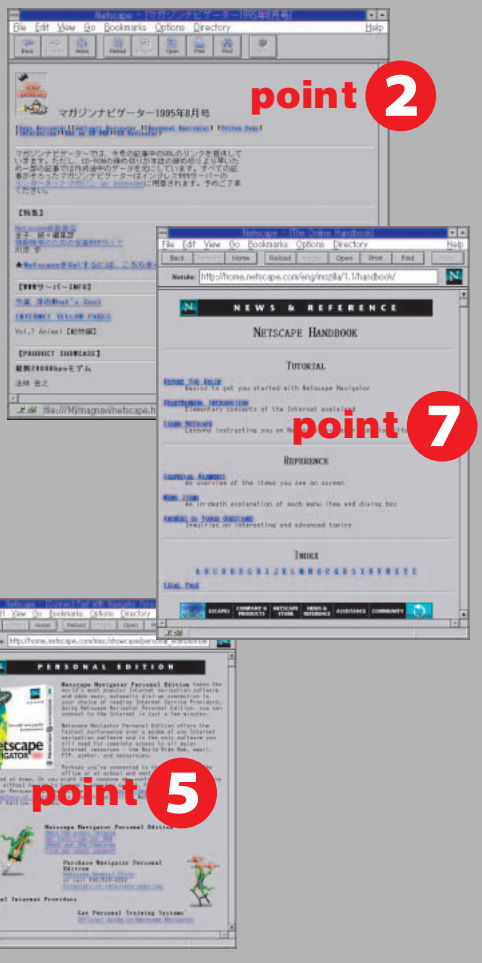
【Netscapeを選ぶ7つの理由】

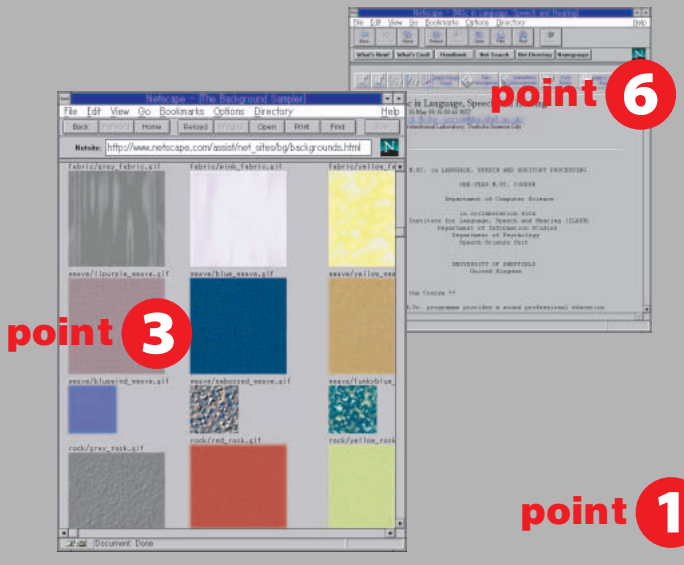
昨年の今ごろはWWWブラウザーといえばNCSA Mosaic一辺倒だった。Mosaicという言葉はWorldWideWebと同義語のように使われことも多かった。それがNetscape Navigatorの登場によって、あっという間に影が薄くなり、今ではNetscapeにすっかりその地位を譲ってしまった。

最近では、「このページを正しく再現するにはNetscape Navigatorバージョン1.1以降を使用してください」と表示しているサーバーも多く見かけるようになった。

なぜ、これほどまでに多くのユーザーがNetscape Navigatorを使うようになったのか不思議に思う人も多くいることだろう。

ここでは、その理由を探ってみた。





point 1

著作権者からPDF版掲載の許諾を得ていない画像は掲載していません

NETSCAPE

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

❶ もはやデファクトスタンダード

業界ウオッチャーによれば、Netscape Navigatorの総出荷本数はすでに400万本を超え、じつに世界のWWWブラウザーの70パーセント以上を占めるようになったと言われている。

雑誌に登場するWWWブラウザーの画面は、どれを見てもNetscape Navigatorでキャプチャーしたものばかりというのが最近の状況だ。

Netscape Navigatorは もともとNCSA Mosaicを開発していたMarc Andersenらが新しく会社を設立して作っただけに、Mosaicで実現はできなかった機能や使いにくかった機能が、数多く改良されている。

なかでも優れているのはそのスピード。

キャッシュの機能を強化してデータの読み込みが早くなっているばかりでなく、グラフィックスの表示に「最初は粗く、後で緻密に」という方法を採用するなど、さまざまな工夫が加えられている。

❷ 日本語の表示ができる

Netscape Navigatorが優れていると言う理由の１つに漢字が表示できることが挙げられる(ただし現時点ではWindows版とMacintosh版のみ)。PrefernceウインドウのFonts and Colorsの設定画面を見るとわかるように、Encoding形式として「Japanese」が用意されている。つまり、Font Patchinなどでプログラムにパッチをあてなくても、最初から漢字が表示できるように作られているのだ。

しかも、パソコンが使っているSHIFT-JISコードだけでなく、JISコードやEUCコードも表示でき、しかもどの漢字コードかを自動的に判別してくれる。もはや漢字コード変換のためにproxy serverを使うことは、必要なくなった。

❸ バックグラウンドイメージやテーブルも表示可能

Netscape Navigatorは、HTMLの次期バージョンであるHTML 3.0ドラフトを先取りするかたちでサポートしている。

バックグラウンドイメージとは、コンテンツを表示するスクリーンのバックにイメージを張り付ける機能のことだ。

いっぽうテーブルはスプレッドシートのような表をWeb上で表現するためのものだ。

これらの機能が加わったことで、HTMLの表現能力が格段に向上した。

良いものは使いたくなるのが人情で、まだドラフトの段階であるにもかかわらず、すでに採用しているサーバーが急速に増加しつつある。

❹ サーバーもネットスケープならセキュリティも完璧

Netscape社がNetscape Navigatorを開発した最大の理由は「Mosaicの商用版を作る」ことだった。

そのためにNetscape Navigatorでは、新たにセキュリティ機能が追加された。

Netscape社が提供するセキュリティ機能を備えたサーバーを使用しているサイトとつながった場合は安全性が保証されるようになっている。

これによって、WWWのスクリーン上でクレジットカード番号を入力したり暗唱番号を入力したりしても、他人にその情報を盗まれて悪用されることがなくなった。

❺ 評価や非営利目的での使用のための無料版が配布されている

Netscape社は、自社のサーバーをはじめ、世界各国のミラーサイトを通じて評価版のNetscape Navigatorを配布している。学校や非営利団体で使用する場合は、使用期間の制限はないが、個人で使用する場合は、90日間の使用制限つきになっている。

Netscape社のねらいは、Netscape Navigatorをできるだけ多くの人に使ってもらって、ビジネスサーバーのソフトを販売することにあるようだ。

ただ最近米国では、Netscape Navigatorに電子メールソフトなどを加えた「Netscape Navigator Personal Edition」というパッケージも販売し始めている。

Netscape 1.1N
Netscape 1.03b
Netscape 0.96b

❻ NetNewsの購読だってできる

実際に使っている人は少ないと思うが、Netscape Navigatorには、NetNewsを購読する機能が備わっている。PrefernceウインドウのMail and Newsの設定画面でNNTPサーバーのアドレスを設定しておけば、画面上部のNewsgroupボタンを押すとNetNewsを購読することができる。

また、同じ画面でSMTPサーバーのアドレスを設定しておけば、画面上部のOpenアイコンをクリックしてURLを入力する際に「http://」の代わりに「mailto:」と入力することでメールを送ることもできる。

❼ オンラインマニュアルも充実

Netscape Navigatorの画面上部にあるHandbookボタンを押すと、Netscape社が提供するオンラインマニュアルのページにアクセスすることができる。

このオンラインマニュアルが、じつに良くできているのだ。ほとんどの疑問はこのページのなかに答えを見い出すことができるだろう。

すべて英語で書かれているのが、問題といえば問題だが…。

©1994-2007 Impress R&D

著作権者からPDF掲載の許諾を得ていない画像は掲載していません

【Netscape Navigatorを手に入れる】

Netscapeの良さがわかったところで、さっそくインストールに移ろう。ところで、キミのマシンはもうインターネットにつながっているだろうか？　これからの話はマシンがすでにインターネットに接続されていることが前提。まだだという人は、まずインターネットに接続しよう。

Netscape Navigatorは ネットワークからダウンロードする

Netscape Navigatorを手に入れるにはNetscape社のサーバーか世界各地にあるミラーサイトからダウンロードしなくてはいけない。バージョン1.1がリリースされたばかりの頃はミラーサイトが少なくてNetscape社にアクセスが集中してなかなかつながらなかったが、最近は日本にもミラーサイトがいくつもできたのでダウンロードしやすくなった。

もうダウンロードは慣れてるという人は左のURLにアクセスしよう。

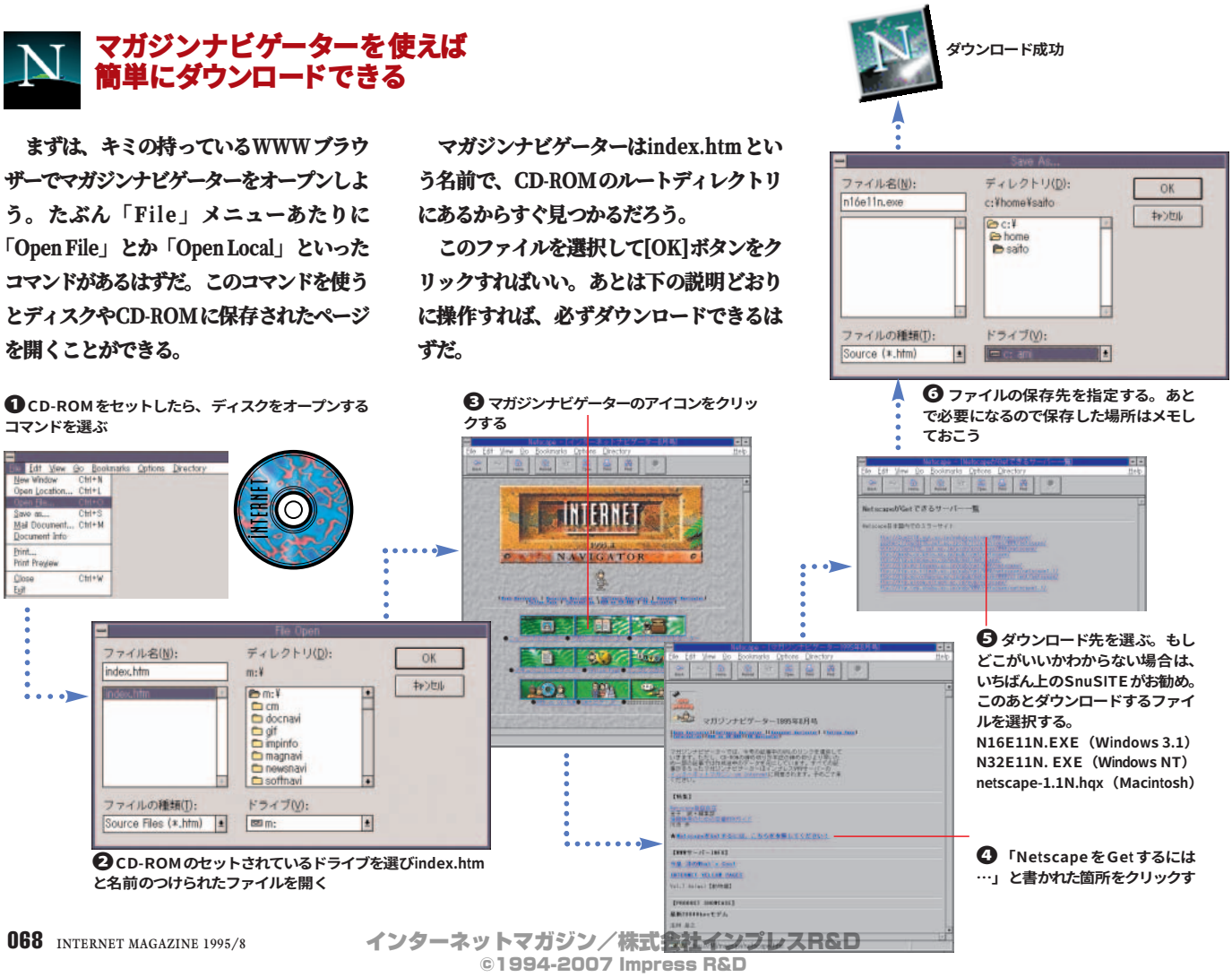
Netscape Navigator FTP and Mirror Sites
URL http://home.mcom.com/comprod/ mirror/index.html

マガジンナビゲーターを使えば 簡単にダウンロードできる

まずは、キミの持っているWWWブラウザーでマガジンナビゲーターをオープンしよう。たぶん「File」メニューあたりに「Open File」とか「Open Local」といったコマンドがあるはずだ。このコマンドを使うとディスクやCD-ROMに保存されたページを開くことができる。

マガジンナビゲーターはindex.htmという名前で、CD-ROMのルートディレクトリにあるからすぐ見つかるだろう。

このファイルを選択して[OK]ボタンをクリックすればいい。あとは下の説明どおりに操作すれば、必ずダウンロードできるはずだ。



インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

Netscape Navigatorをインストールする

●Windows版のインストールはSETUP.EXEで

ダウンロードしたファイルはNetscapeの設定に必要なすべての１つのファイルにまとめられ、圧縮されている。

最初のステップは、これを解凍することだ。適当な名前の作業用ディレクトリを作り、ダウンロードしてきたN16E11N.EXEをここにコピーする。N16E11N.EXEは自己解凍型のプログラムなので、キーボードから「N16E11N.EXE」と入力し、リターンキーを押すと、インストールに必要なファイルが展開され準備が整う。

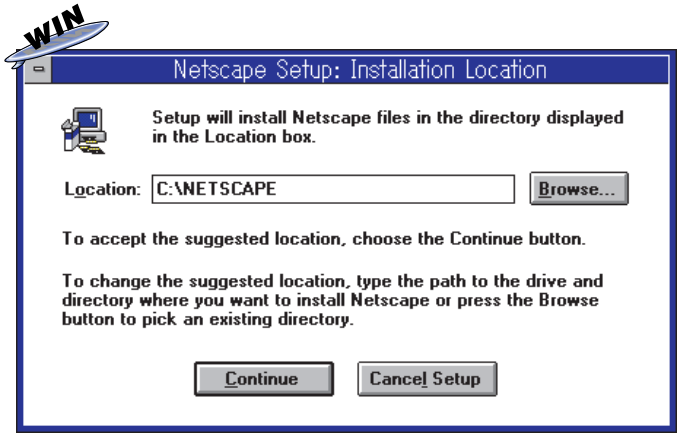
第２のステップは、Windows上でのインストールだ。ファイルマネージャーを起動し先ほど作った作業用ディレクトリを開くと、SETUP.EXEという名前のファイルがあるので、これをダルブクリックする。

インストールが開始され、Netscape SetupのWelcomeメッセージが表示されるので、[Continue]ボタンをクリックする。次に画面のようにインストールするディレクトリを問い合わせてくるので、表示されているディレクトリで良い場合は[Continue]ボタンを押す。もし別のディレクトリにインストールしたい場合は、[Browse]ボタンを押せばよい。

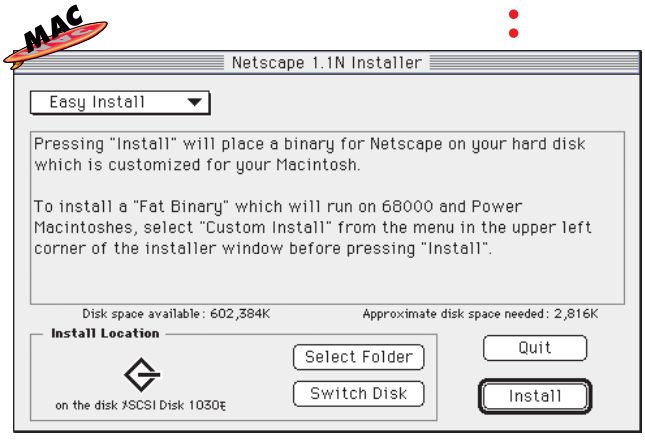
●Macintosh版ではインストーラアイコンをダブルクリック

ダウンロードしたファイルはBinHex形式なので、StuffIt Expanderなどを使ってデコーディングするとNetscape 1.1N Installerと名付けたれたファイルができる。

このアイコンをダルブクリックすると画面のようにインストールウインドウが表示される。[Install]ボタンを押すとインストールが開始される。



ここでは、Netscape Navigatorをインストールするディレクトリを指定する。他の場所にインストールする場合にはディレクトリの名前を書き代える。[Continue]ボタンをクリックすると、次にアイコンを登録するグループの指定画面が表示されるが、ここは[Continue]ボタンを押そう。以上の指定が終わると、インストールが開始される。



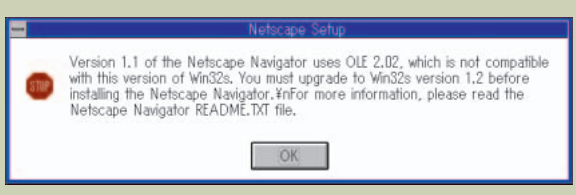
[Easy Install]を選ぶと、インストーラが機種をチェックして68000版かPower Mac版のどちらかをインストールする。もし、どちらの機種でも動作するFat Binary版をインストールしたい場合は、[Easy Install]の代わりに[Custom Install]を選択すればよい。また、インストール先を変更する場合は[Select Folder]と[Switch Disk]のボタンをクリックして指定する。

インストールエラーへの対処

N16E11N.EXEをインストールする際に右の画面のようなインストールエラーが発生することがある。

N16E11N.EXEは16ビット用のプログラムなどで32ビットバージョンのソフトを動かすためのWIN32Sは必要ないが、WIN32Sがすでにインストールされていると、なぜかこのようなエラーメッセージが表示される。

その場合は、Windowsディレクトリ内にあるsystem.iniでWIN32Sの使用を宣言している箇所をいったんコメントにし、Windowsを再起動したあとでインストールするとエラーが回避できる。インストール後は、system.iniを元に戻してもNetscapeは正常に動作する。



©1994-2007 Impress R&D

著作権者のないPDF版掲載の許諾を得ていない画像は掲載していません

【Netscape Navigatorをチューンナップする】

Netscape Navigatorのインストールが無事に完了したら、まずは動かしてみよう。操作は簡単だから、とくにマニュアルなどを読まなくてもきっと使うことができるだろう。あらかじめ設定されている状態でも、じつに軽快にネットサーフィンが楽しめることがわかるはずだ。さて、Netscape Navigatorの操作にひととおり慣れたら、次は、いよいよNetscape Navigatorのチューンナップに移ろう。

Preferenceを設定する

Netscape Navigatorのさまざまな機能の設定は、Preferenceウインドウで行う。メニューバーから「Options」を選択すると、サブメニューが表示されるので、ここで「Preferences」を選択すればいい。Preferenceウインドウには設定項目の選択リストボックスが用意されている。Windows版もMacintosh版でも、設定項目はほとんど同じ内容だ。ここでは、Windows版についてその設定方法を説明するが、一部機能が異なっている部分はMacintosh版の説明も加えてある。

設定が終了したら、忘れずに「Save Options」を選択して、設定内容を保存しておこう。

1 画面表示をチューンする「Styles」

ここではウィンドウのツールバーや起動時に表示する画面などを設定する。またアンカーポイントの表示方法や参照したリンク先の表示方法もここで設定する。

●Window Styles

Show Toolbar as: ツールバーの表示方法を設定する。

[**Pictures**]を選択すると、ツールバーの表示をアイコンだけにし、[**Text**]を選択すると、テキストのみの表示にすることができる。[**Picture and Text**]だとアイコンとテキストが一緒に表示される。

画面が狭いと感じるときは、ツールバーのアイコン表示もやめてアクセス画面を最大限に表示してみることも可能だ。

Start with: Netscape Navigatorが起動したときに参照するページを設定する。

[**Blank Page**]をチェックすると、起動するときなにもない空白の画面を表示する。

[**Home Page Location:**]をチェックすると、起動したときにあらかじめ指定したページからアクセスを開始する。いつもいく

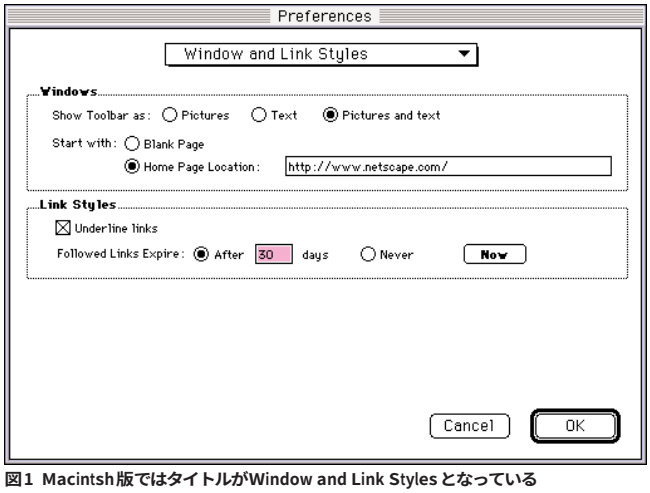


図1 Macintsh版ではタイトルがWindow and Link Styles となっている

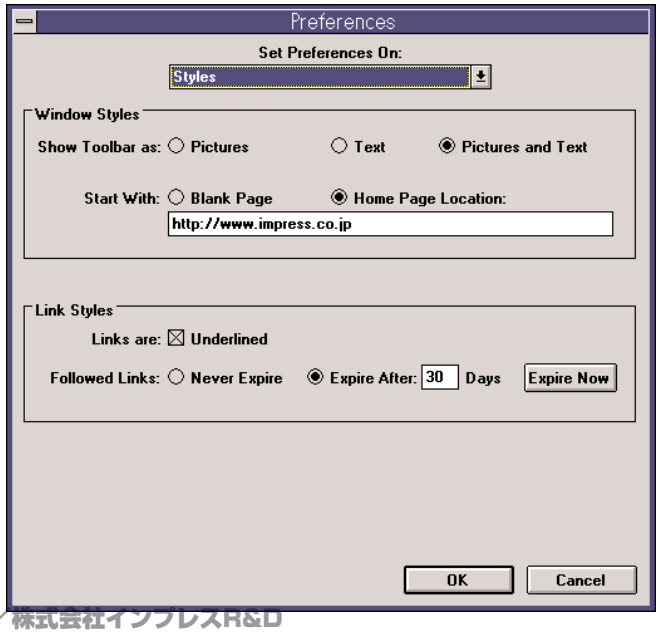


図2 Windows版のStyles設定画面

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

ページや自分のホームページのURLを登録しておくのも良いだろう。最初は外部にアクセスせずに、自分のパソコンに登録した画面を設定することもできる。
ここで設定した画面はネットサーフィンの途中でツールバーの「Home」クリックしたとき戻る場所となる。

●Link Syles

リンクについての設定を行う。

Links are:[Underlined]をチェックすると、リンクが張られているテキスト部分に下線が引かれる。

Followed Links:一度参照したリンク先をどう表示するかの設定を行う。

[Never Expire]は参照したリンク先の表示色を解除しない。[Expired After * days]は「*」日後に参照表示色を解除する。[Expired Now]をクリックするとすぐに参照済み表示を解除する。

2 フォントと色をチューンする「Fonts and Colors」

ここではWWWの画面表示に使用するフォントや表示色の設定を行う。また日本語への対応もここで行う。

●Fonts/Encodings

Netscape Navigatorのバージョン1.1Nからは正式に日本語コードに対応したので、漢字コードがSHIFT-JIS、JIS、EUCのいずれであっても、従来のように漢字コード変換のためのDelegateサーバーを経由しなくても正常に画面表示を行うことが可能となった。

For the Encoding:使用する言語を設定する。ここで[Japanese]を選択すると日本語表示ができる。

Use the Proportional Font:プロポーショナルフォントの書体とサイズを指定する。

Use the Fixed Font:等幅フォントの書体とサイズを指定する。

Default Encoding:基本となる文字コードを指定する。[Auto select]をチェックすると、漢字コードを自動判別してくれる。

●Colors

ここでは表示色に関する設定を行う。

Colors: [Let Document Override]をチェックするとドキュメントが指定した色を使用する。[Always Use Mine]をチェックした場合は、ここで設定した色を使うことになる。

Links: [Custom]をチェックすると、リンクが張ってある箇所を自分の好みで色を設定することができる。

Followed Links: [Custom]をチェックすると、参照済みのリンクの色を自分の好みに設定することができる。

Text: [Custom]をチェックすると、テキスト色を自分の好みに設定することができる。

Background:背景色やイメージのフォーマットを指定する。
[Default]をチェックするとデフォルト色で表示され、[Custom]をチェックすると、自分の好みに設定することができる。
イメージファイルを使用する場合には[Image File:]をチェックして、そのファイルのある場所と名前を入力する。
リンク、参照済みリンク、テキスト、バックグラウンドはそれぞれ[Choose Color...]をクリックすると指定できる。自分の好きな色に染めてみるのも面白いだろう。

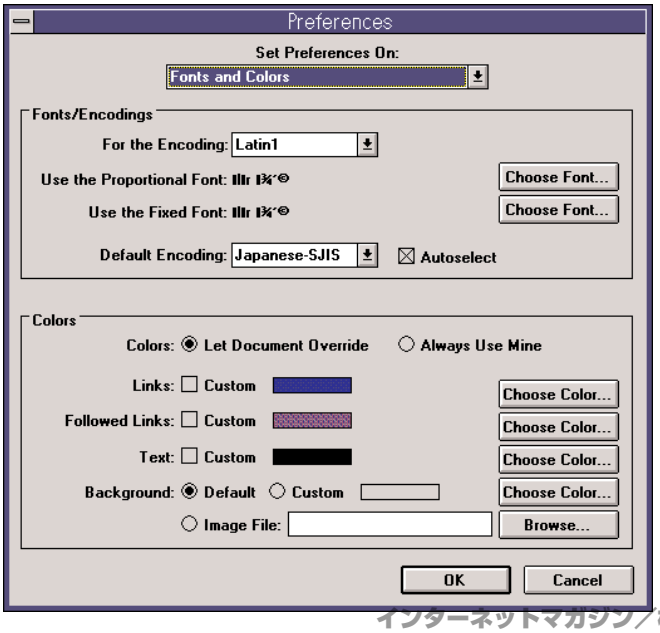


図3 Windows版のFonts and Colors設定画面

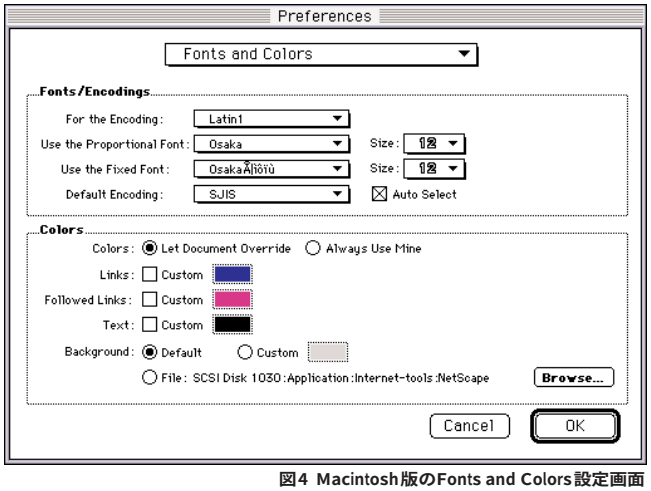


図4 Macintosh版のFonts and Colors設定画面

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

3 電子メールとネットニュースのアドレスを設定する「Mail and News」

ここでは、メールを送信したりネットニュースを購読する際に必要となるメールサーバーやニュースサーバーの指定を行う。

これらのメールサーバーのアドレスやニュースサーバーのアドレスは、あらかじめプロバイダーから通知されたものを使用する必要がある。

Mail

メールを送信する際にアクセスするメールサーバーのアドレスを設定する。

Mail[SMTP]Server: メールサーバー名を入力する。

Your Name: 自分の名前を入力する。

Your Email: 自分の電子メールアドレスを入力する。

Your Organization: 自分が所属する会社が学校などの名前を入力する。入力しなくても構わない。

Signature File: 電子メールなどに記入するシグネチャ（署名）ファイル名を入力する。入力しなくても構わない。

右の[**Browse...**]ボタンを押すと、自分のパソコンのディスクに登録したファイルの一覧を見ながら、署名ファイルを指定することができる。

Send and Post: 通常は[**Allow 8-bit**]で良いが、マルチメディア機能を使用する場合にはMIME プロトコルを使用するので[**Mime Compliant**]をチェックする。

News

NetNewsを購読する際にアクセスするニュースサーバーのアドレスを設定する。

News[NNTP] Server: ニュースサーバー名を入力する。

News RC Directory: RCはRun Commandのこと。ここにはファイルを保存するディレクトリ名を入力する。

Show: 一度に読みに行く最大記事数を入力する。

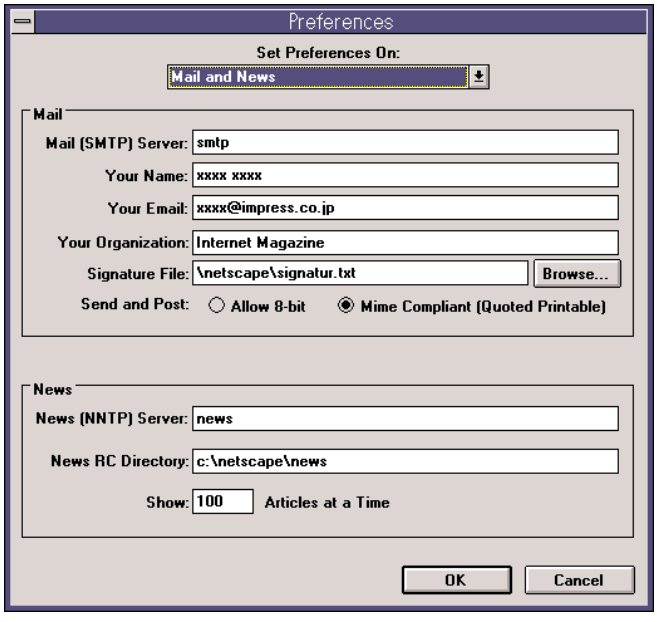


図5 Windows版のMail and News設定画面

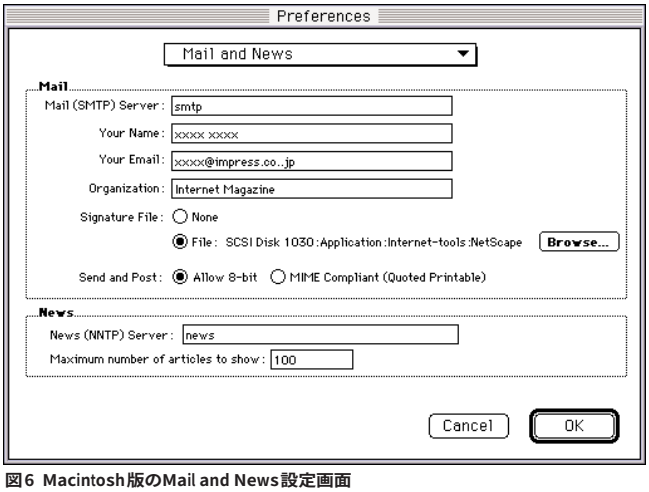


図6 Macintosh版のMail and News設定画面

4 実行速度をチューンする「Cash and Network」

ここでは、ディスクキャッシュやメモリーキャッシュの設定をする。

Netscape NavigatorではWWWアクセス中に使用するディスクキャッシュやメモリーキャッシュの量、ネットワークバッファーに使用するメモリーの量を設定することができる。ディスクやメモリーの領域に余裕があれば、キャッシュの量などを適切に設定してやることによって、ネットワークはさらに軽快に動いてくれるようになる。

Cache

Netscape Navigatorが軽快に動作するのはメモリーキャッシュとディスクキャッシュを有効に使っているからだ。ここではその使用量を設定する。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

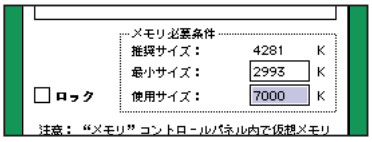


図 9 Macintoshのメモリ設定画面

Memory Cache:キャッシュに割り付けるメモリ量を空欄の中に入力する。メモリに余裕があれば大きめに設定したい。

ただしMacintoshの場合はここでは行わず、Netscapeのアイコンをクリックしたあとファイルメニューから「**情報を見る**」を選択して表示されるウインドウでNetscape Navigatorが占有するメモリーの使用量を設定する（図9）。

[**Clear Memory Cache Now**]ボタンを押すと、その場でメモリーキャッシュがクリアされる。

Disk Cache:キャッシュに割り付けるディスクの容量を空欄の中に入力する。ディスクの領域に余裕があれば大きめに設定したい。だだし、あまり容量を大く設定すると起動時と終了時にキャッシュを整理する時間がかかるので注意しよう。

[**Clear Disk Cache Now**]ボタンを押すと、その場でディスクキャッシュがクリアされる。

Disk Cache Directory:キャッシュデータを保存しておくディレクトリーを設定する。

Verify Documents:キャッシュデータが更新されているかどうかのチェックをどのタイミングで行うか設定する。

[**Once per Session**]を選択すると、セッション毎にチェックを行い、[**Every Times**]を選択するとハイパーテキストのドキュメントが参照されるたびにチェックを行い、[**Never**]を選択するとあらかじめ設定したキャッシュがクリアされるまでチェックしないことになる。

●Network Connections

この欄ではドキュメントを読み込むためのバッファー領域や同時に接続するコネクションの最大数を設定する。この数を大きくしすぎると、接続しているネットワークに負荷をかけることになるので注意しよう。

またここのバッファサイズを大きく取りすぎるとメモリーを圧迫して、メモリー不足となることもある。そんなときはサイズの値を小さくしてやると良い。

Network Buffer Size:バッファサイズをキロバイト単位で設定する。

Connections:同時接続するコネクションの数を設定する。

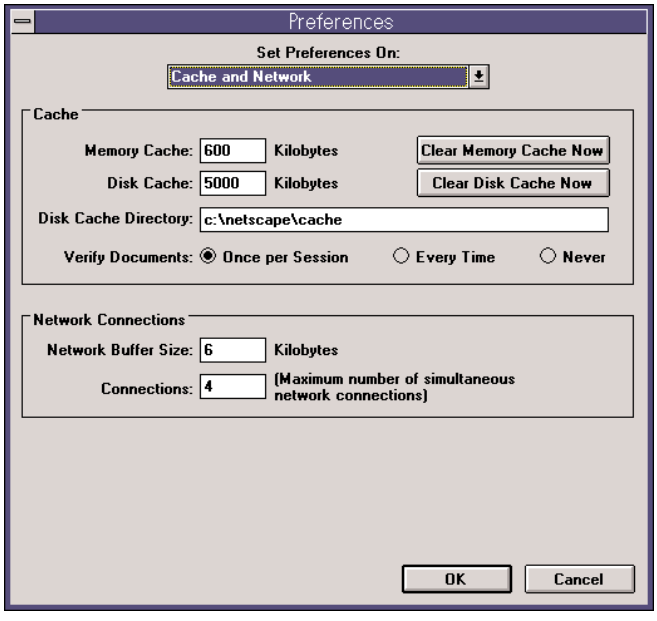


図7 Windows版のCache and Network設定画面

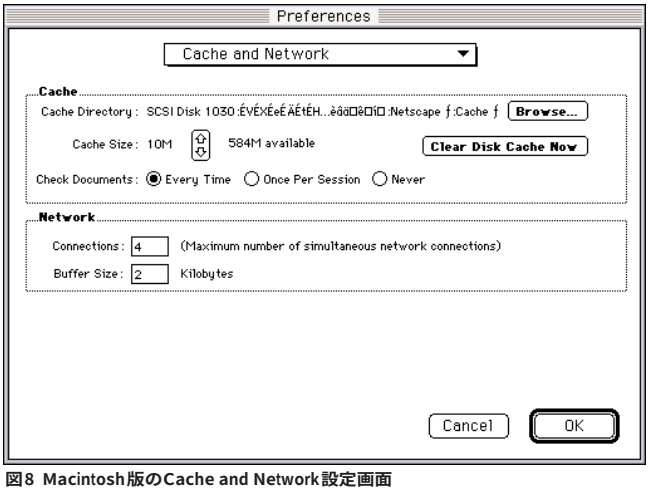


図8 Macintosh版のCache and Network設定画面

5 呼び出すアプリケーションをチューンする「Applications and Directories」

ここではTelnetする際に利用するアプリケーションやディレクトリーを設定する。

ここを設定しておくと、Netscape Navigatorの中から連続的にtelnetサービスを利用することができる。

●Supporting Applications

Netscape Navigatorの助っ人となるアプリケーションをここで設定する。

Telnet Application: Netscape Navigatorを起動しているときに「telnet://ホスト名」と指定すると自動的にtelnetセッションに入ることができる。ここではその際に起動するアプリケーションを設定する。

[**Browse...**]ボタンを押すと、ディスクに登録されているソフトを簡単に設定することができる。

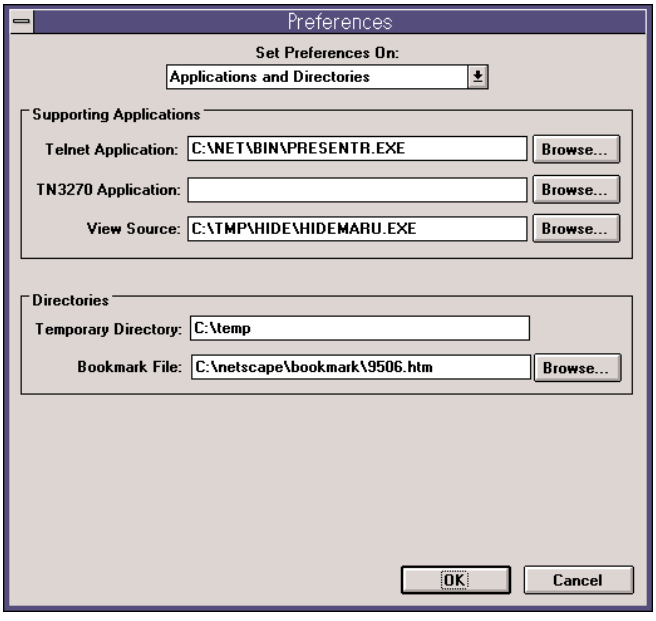
TN3270 Application: Netscape Navi-

©1994-2007 Impress R&D

gatorを起動しているときに汎用機にtelnet形式で接続するために「tn3270://ホスト名」と指定したときに自動的に起動されるアプリケーションを設定する。
[**Browse...**]ボタンを押すと、ディスクに登録されているソフトを簡単に設定することができる。

View Source:ツールバーのViewボタンを押すと、そのとき表示されているWWW画面のHTMLソースを見ることができる。その際に自動的に起動されるアプリケーション（エディタなど）をここで設定する。
[**Browse...**]ボタンを押すと、ディスクに登録されているソフトを簡単に設定することができる。

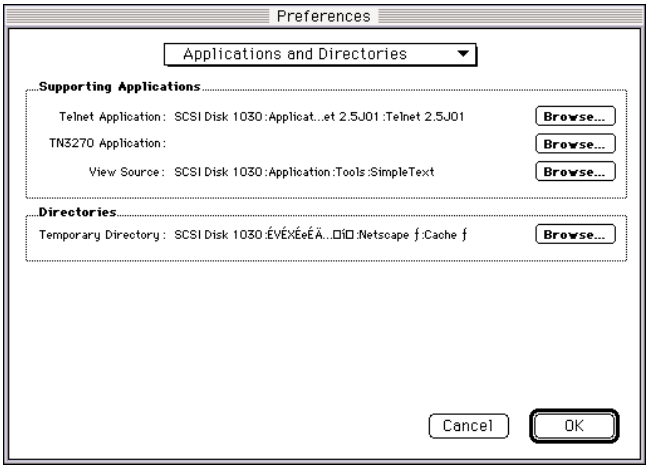
図10 Windows版のApplications and Directories設定画面



●Directories

Temporary Directory:テンポラリディレクトリ（アクセス中の作業ファイルを置く場所）のディレクトリを設定する。
Bookmark File: Netscape Navigatorはアクセス先にブックマーク（しおり）をつけて、記録しておくことができる。ブックマークに登録した場所はBookmarkメニューをクリックすると表示される。そのブックマークを保存しておく場所とファイル名をここで設定する。

図11 Macintosh版のApplications and Directories設定画面



6 画像の見え方をチューンする「Images and Security」

ここでは、イメージの表示に関する方法やセキュリティ機能を使用する際の警告について設定する。

●Images

表示画像の処理の仕方をここで設定する。
Colors:ディスプレイでサポートされていない色が指定された場合の処理の仕方を設定する。
[**Dither to Color Cube**]を選択するとディザー処理を行って表示し、[**Use Closest Color in Color Cube**]を選択すると、最も指定の色に近い色で表現する。
Display Image:イメージの表示方法を設定する。
[**While Loading**]を選択するとイメージデータを読み込みながら表示し、[**After Loading**]を選択するといったんイメージデータをすべて読み込んだ後で表示する。

●Security Alerts

Show a Popup Alert Before:セキュアな（暗号通信機能つきの）ページにアクセスした際に、その旨をポップアップメニューに出して警告表示するかどうかを設定する。
[**Entering a Secure Document Space [Server]**]をチェックすると、セキュアなページにアクセスするときに警告が表示され、[**Leaving a Secure Document Space [Server]**]をチェックすると、セキュアなページから出るときに警告が表示がされ、[**Viewing a Document With a Secure / Insecure Mix**]をチェックすると、セキュアなものと暗号化されていない情報が混在しているページを見るときに警告が表示がされ、[**Submitting a Form Insecurely**]をチェックすると、暗号化されていない記入項目について了承するときに警告表示が出される。
どれを選ぶか不安な場合は、全項目をチェックしておくと良い。
まったく気にしない場合は、すべてのチェックを外しても良いが、あまり勧められない。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

自分のいるページとセキュアな接続（暗号通信）を行っているかどうかは、いつも意識するようにしておいたほうが無難だろう。

図12 Macintosh版のImages and Security設定画面

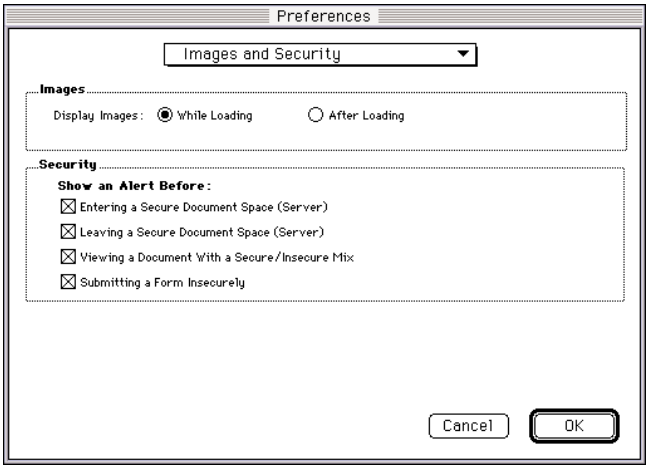
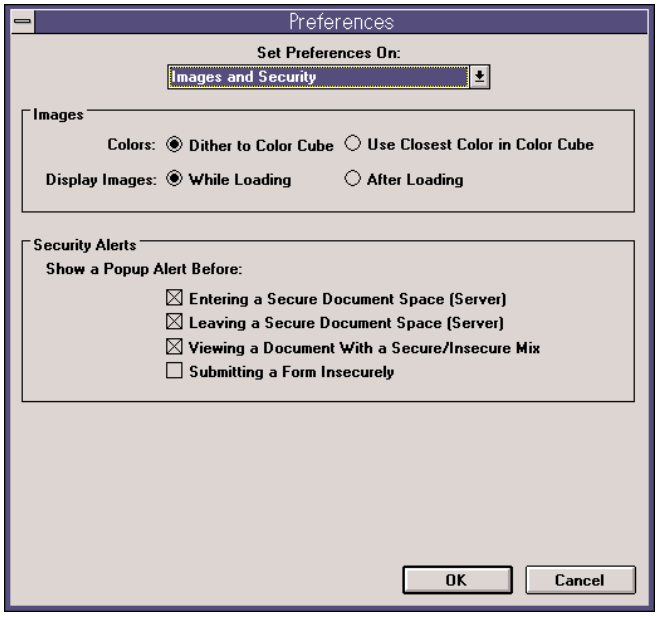


図13 Windows版のImages and Security設定画面



7 ネットワークキャッシュをチューンする「Proxies」

ここでは、Proxyサーバーに関する設定を行う。

●Proxy

一時は漢字変換機能を利用するために盛んに利用されていたが、Netscape Navigatorが日本語に対応できるようになってから、次第に使われなくなっている。

ただし、キャッシュ機能としてのProxyサーバーのメリットはあるので、組織などからインターネットにアクセスしている環境で、ネットワーク管理者がproxyサーバーの使用を推奨している場合は、この欄にアプリケーション毎のサーバーアドレス名やポート番号を指定しておく。

またプロバイダーが利用を推奨している場合にも、その理由があってのことなので、設定するようにした方がいい。

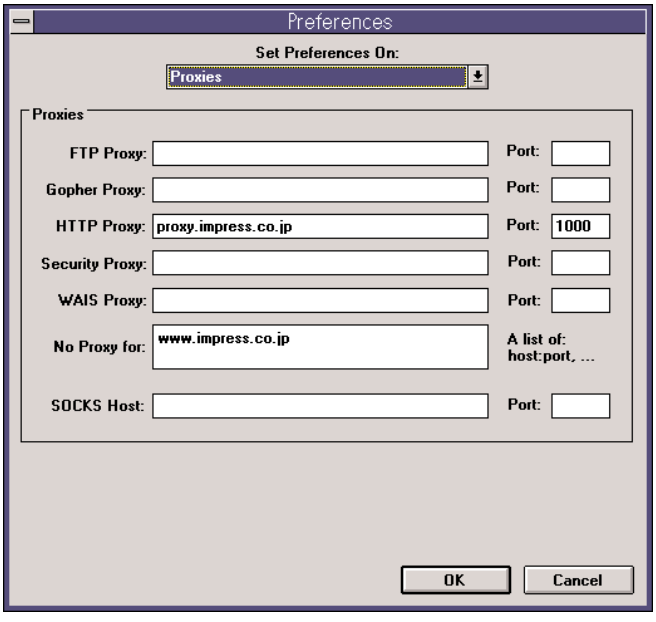


図14 Windows版のProxies設定画面

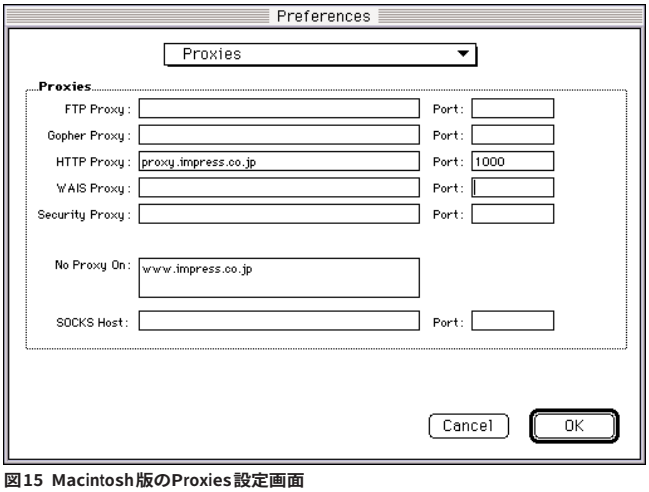


図15 Macintosh版のProxies設定画面

©1994-2007 Impress R&D

8 ヘルパーアプリケーションをチューンする「Helper Applications」

チューンナップのハイライトはヘルパーアプリケーションの設定だ。

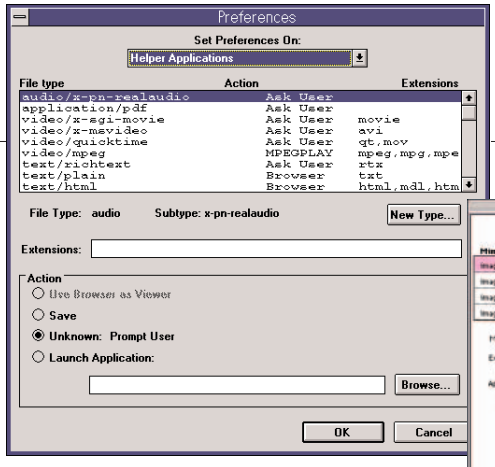


図16 Windows版のHelperApplications設定画面

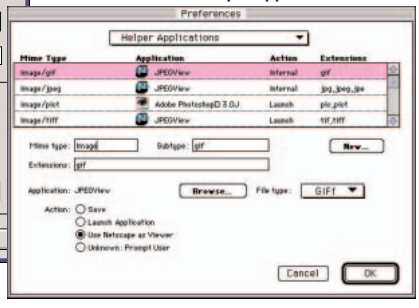


図17 Macintosh版のHelperApplications設定画面

ネットスケープが表示できるのは、HTMLの文書かGIF形式の画像だけだ。音声や動画などはそのままでは再生できない。そこで、読み込むデータの種類に応じて、そのデータを表示するためのアプリケーションが必要になる。このアプリケーションのことを「ヘルパーアプリケーション」つまり、助っ人アプリケーションという。

WWWで使われるデータは、音声、画像、動画などいろいろある。そのいずれも各種のデータ形式があり、データ形式に応じた表示用のソフトや再生用のプレーヤーを組み込んでおく必要がある。

この組み込みは、「Helper Applications」で設定する。Windows用およびMacintosh用は、図16、図17のような画面だ。

●ヘルパーアプリケーションを起動するしくみ

この画面を説明するまえに、ヘルパーアプリケーションが起動するしくみについて、簡単に説明しておこう。WWWの画面でアンカーをクリックすると、そこに定義されているファイルを読み込む。このファイルはテキストファイルだけでなく、画像、動画、音声のファイルなどのこともある。そのファイルがどんな形式であるかは、ファイル名の拡張子と呼ばれる部分で識別される。Windowsを使っている人にとっては、拡張子については説明するまでもないだろう。Macintoshユーザーの人には、あまり馴染みのない言葉かもしれない。これはファイル名の最後部分をピリオドで区切って、末尾3文字の識別するための部分だ。たとえば、NETSCAPE.TXTというのは、NETSCAPEが名前で.TXTが拡張子というわけだ。

Netscapeは拡張子を見て、そのデータがどのような形式のファイルなのかを識別する。たとえば、「.qt」とか「.mov」だったら、それはクイックタイムのデータだし、「.avi」だったらマイクロソフトのビデオフォーWindowsのデータという具合だ。

図16の「Extentions」という項目がこの拡張子を表している。同じ行の「File Type」のところをみると、どんなデータなのかがだいたいわかるようになっている。たとえば、「video/quicktime」というところは、「動画」の「クイックタイム」という意味だ。

そして、真ん中の「Action」という部分は、その拡張子のデータをクリックしたときに起動するアプリケーションの名前だ。もし、アプリケーションがまだ設定されていなければ、「Ask User」というように書いてある。これは、そのつどユーザーに確認を求めるという意味だ。

Netscape Navigatorをインストールしたばかりのときには、すべてのデータ形式にアプリケーションが関連づけられているわけではないので、本来はこのダイアログボックスで指定をする。

しかし、ちょっと見ただけでもやっかいだ。それに、使いはじめる前から、使うかどうかわからないヘルパーアプリケーションをすべて組み込むことを考えただけでげんなりしてしまうのは誰でも同じだろう。

●必要になったときに組み込むテクニック

まずは、いま見ているこの「Helper Application」のダイアログボックスを「Cancel」ボタンを押して閉じてしまおう。そして、思うままにネットサーフィンを楽しんでほしい。

ネットサーフィン中にもし、クリックしたデータが表示できないと、図18のようなUnknown File Typeダイアログボックスが表示される。

このダイアログボックスが表示されるということは、ヘルパーアプリケーションとして設定されていない形式のファイルを表示しようとしたという意味だ。ここで「Save to Disk」を押すと、データを表示しないで、そのままハードディスクに保存する。「Cancel Transfer」を押すとデータを読み込むことをやめて、もとのWWWの画面に戻る。最後の「Configure a Viewer」というのが重要だ。このボタンを押すと、その場でデータ用のヘルパーアプリケーションの組み込みができるのだ。

次に図19ようなConfigure External Viewerダイアログボックスが表示される。この例では「Video/quicktime」つまり、クイックタイムの動画データを再生するプレーヤーソフトのありか（「パス」という）を指定するよう要求している。

そのためには、あらかじめプレーヤーソフト自体はディスクに入れてなければいけないのはいうまでもない。入っていれば、そのプレーヤーソフトへのパスを書けばいい。もし場所がわからなければ、Browseボタン

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

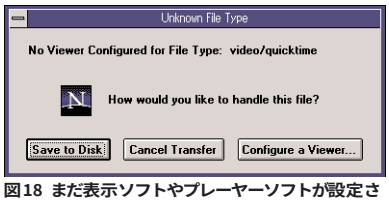


図18 まだ表示ソフトやプレーヤーソフトが設定されていない場合に表示されるダイアログボックス。「Configure a Viewer...」を選択すると表示ソフトやプレーヤーソフトを設定できる

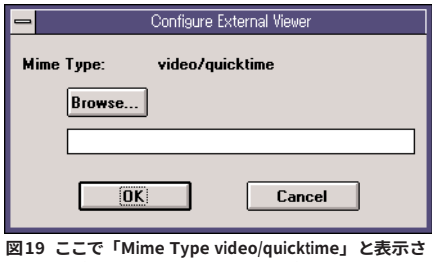


図19 ここで「Mime Type video/quicktime」と表示されているデータを表示するのに必要なデータのありか（パス）を指定する

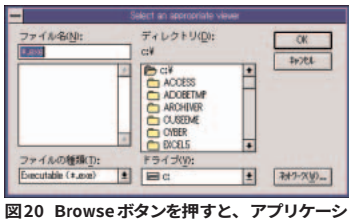


図20 Browseボタンを押すと、アプリケーションの場所をおぼえていなくても、クリックしながらアプリケーションを探せるので便利

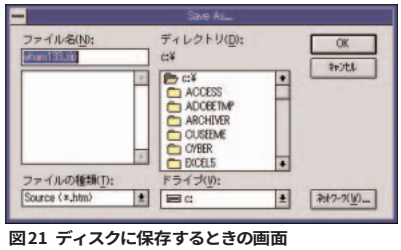


図21 ディスクに保存するときの画面

図22 ネットスケープ社にも各種ヘルパーアプリケーションが集められている

を押して探すことができる。

このようにすれば、必要に応じてアプリケーションを組み込んでいけるので、不必要なものを入れる手間はかからないし、一度入れてしまえば、同じファイル形式（拡張子が同じもの）のものは、以後は自動的にプレーヤーが起動される。

●ヘルパーアプリケーションの入手方法

バージョン1.1NからはNAPLAYといわれる音声ファイルのプレーヤーがNetscapeに付属している。

それ以外のものは「インターネットマガジン」の付録のCD-ROMをチェックしよう。ここにはWindows用、Macintosh用などのヘルパーアプリケーションが多く集録されている。

また、最新版はネットスケープ社のWWWサーバーからもダウンロードできる。

MacintoshとWindowsの各々のURLはつぎのところだ。

Macintosh用：

http://home.netscape.com/assist/helper_apps/machelpers.html

Windows用：

http://home.netscape.com/assist/helper_apps/windowhelper.html

ここで必要な表示ソフトやプレーヤーソフトをクリックすると、図18と同じ画面画面が表示される。ファイルをディスクに保存するのだから、迷わず「Save to Disk」を選択しよう。

つぎに、保存先を指定する画面が表示される。ここで保存したい場所を指定する。保存したファイルは即実行できるものもあるが、圧縮されていて、そのままでは実行できないものもあるので、ファイルをよく見て、必要なら展開しておこう。

もしよくわからなければ、とりあえずDOSコマンドプロンプトで実行してみるか、Macintoshならマウスでクリックしてみよう。詳しくは付録の小冊子にファイル圧縮と展開に関しての記事があるので、そちらを参照してほしい。

●必要なファイルと拡張子の関係

最後に必要な表示ソフトおよびプレーヤーソフトと拡張子の関係を表にまとめておく。ほとんどの場合、これだけ持っていればそれほど困ることはない。

NAPLAYがあれば、AUやAIFF形式の音声は他のソフトウェアを入手しなくても再生することができる。これ以外にファイル圧縮を自動的に展開するアプリケーションなども組み込みこともできるが、ここまでのことが分かった人はもういうまでもないことなので、宿題としておこう。

このように、必要に応じてヘルプアプリケーションの組み込みをしていれば、自然と充実したNetscapeNavigator環境ができあがっていくわけだ。

表1 ヘルパーアプリケーションとファイル拡張子

ファイル拡張子	種類	ファイル名 Windows	ファイル名 Macintosh	備考
wav	音声	mplay32.exe**	SoundApp	マイクロソフト音声形式
aif/aiff/aifc	音声	naplayer.exe*	SoundMachine	アップル音声形式
au/snd	音声	naplayer.exe*	SoundMachine	音声
ram/ra	音声	pnclient.exe	RealAudioPlayer	リアルオーディオ
qt	動画/音声	qt.exe	SimplePlayer	クイックタイムムービー
mpeg/mge/mpg	動画	mpegplay.exe	sparkle	MPEG圧縮された動画

*ネットスケープに付属　**Windowsに付属

©1994-2007 Impress R&D

m a i - n o - u m i

【小技も極める】

ちょっとした小技を極めることで、Netscape Navigatorはグンと使い勝手が良くなる。ここに紹介するのは、いずれも簡単なテクニックなので、ぜひ挑戦してみてほしい。

Bookmarksを積極的に使う

最新版Netscapeでは、気に入ったWebサイトのURLを記録し、一発でそこにアクセスしてくれる「Bookmarks（しおり）」機能も非常に充実したものになっている。

●URLリストを分類整理しておく

メニューバーからBookmarksを選ぶと、Add BookmarkとView Bookmarkの2つのコマンドが現れる。ここでAdd Bookmarkを選択すると、現在表示されているWebサイトのURLが保存され、そのタイトルがコマンドの下にリストとなって追加されていく（図1）。

●View Bookmarksの操作方法

URLが増えてくると目的のサイトを長いリストの中から探し出すのが大変になってくる。そこで、階層構造でURLを細かく分類できるView Bookmarksコマンドを使いたい。View Bookmarkコマンドを選ぶと、Bookmark Listのダイアログボックスが現れる（図2）。まず、[New Header]をクリックし、Nameの入力ボックスで見出しを作っていく（日本語の入力はできない）。こうして見出しができたら、情報検索を再開しよう。後でもう一度アクセスしてみたいサイトがあったら、前のダイアログボックスを表示して、見出しを選んでから[Add Bookmark]ボタンを押す。そのサイトのタイトルがインデントされて見出しの下に追加される（図3）。こうして分類していけば、図4のようにきれいに整理できる。

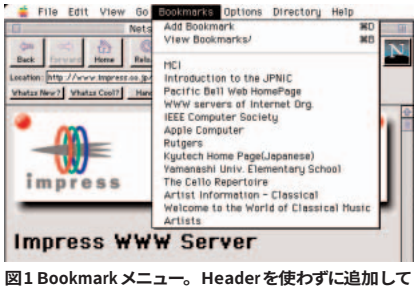


図1 Bookmarkメニュー。Headerを使わずに追加していった場合

図3 見出しの下にサイトを登録

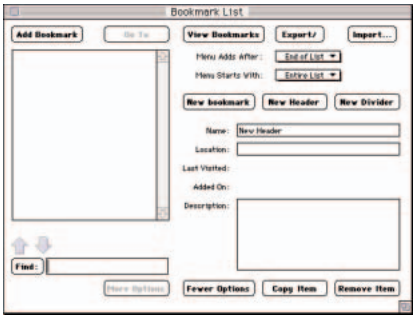


図2 Bookmark Listのダイアログ

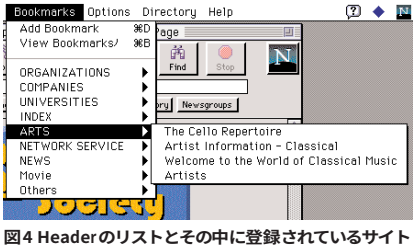


図4 Headerのリストとその中に登録されているサイト

なお、[New Divider]（Windowsでは New Separator）ボタンを使うと、任意の場所に区切りマークを入れることができる。

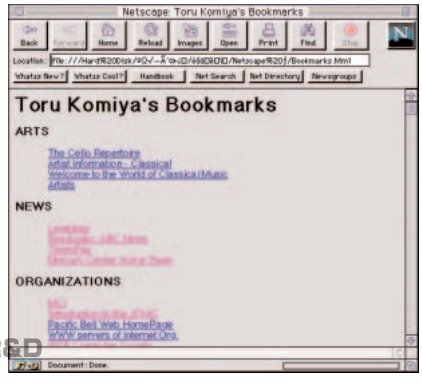
●NetscapeのBookmarksにある新機能

NetscapeのBookmarksのいいところは、この見出しの階層を何レベルでも作れることである。下位の見出しを作るには、上位の見出しの範囲内でNew Headerをクリックするだけでよい。

HeaderやBookmarkの名前は、Nameの入力ボックスで後から自由に変えられる。[Copy Item]ボタンは任意のHeaderやBookmarkをコピーするときに使う。また、HeaderやBookmarkを消すには[Remove Item]ボタンを押せばよい。Headerを消去すると、その中のサイト情報までなくなるので注意。Headerだけを消去したいときは、そこに分類されている項目を上下の矢印キーでそのHeaderからはずしてやる。なお、Headerを選んでからこの矢印キーを押すと、移動もできるのでお試しあれ。

もう1つの特長は、ダイアログボックスの上部にある3つのボタンである。[View Bookmarks]ボタンを押すと、作られたBookmarkのリストがハイパーテキスト形式で表示される（図5）。[Export]ボタンでHTML形式にして保存しておこう。

図5 View Bookmarksでハイパーテキスト形式のリストも自動作成される



インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

気に入った画像はディスクに保存できる

ネットサーフィンをしていて素敵な絵や写真に出会うと、自分のディスクに保存して、ゆっくり鑑賞したくなる。そんなときは、画像にマウスカーソルを合わせ、Windowsの人は右ボタンを、Macintoshの人はマウスボタンをちょっと押し続けてみよう。表示されたポップアップメニューからSave this Image Asを選ぶと、ファイル名が表示され、そのままディスクにセーブできる。あとは手持ちのグラフィックビューアーで読み込めば、オフラインでゆっくり鑑賞できる。

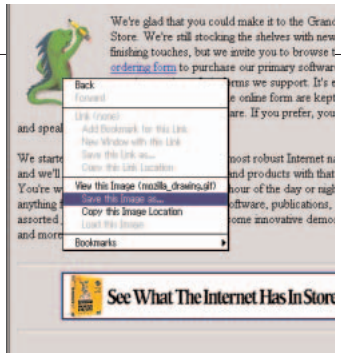


図6 画像にカーソルを合わせてメニューを表示

遅いモデムでも速く通信できる

最寄りのアクセスポイントは14400bpsしかない、いや、本当のことをいうと、2400bpsのモデムしか持っていない。なのに、最近のホームページは重いグラフィックをたくさん使っているから表示が遅くてイライラする。絵より本当はテキストが読みたいのだ、と怒っている人も多いはず。画像を表示しないようにするには、Optionsメニューの Auto Load Imagesについているチェックマークをキャンセルする。もう1度目的のページへ行ってみると、絵のないシンプルなページへ変わっている。これなら遅いモデムでもスイスイ波乗りができる。画像が見たくなったら[Images]ボタンを押そう。

図7 左が画像を表示した場合、右が画像を表示しない場合。文字だけだと速い

アンチマウス派はショートカットキーが使える

マウスでメニューを表示させて目的の機能を選ぶより、キーボードで入力するほうが好きだというあなたは、ショーカットキーが重宝だろう。

たとえば、前のページへ戻ったり、先のページへ移ったりするための[Back]ボタンと[Foward]ボタン。これはALTキー（PC98の場合はGRPHキー）を押しながら左カーソルまたは右カーソルキーで代行できる。渡り歩いたページのヒストリーを表示させるなら、CTRL（コントロール）＋Hキー、[Reload]ボタンの代わりには、CTRL＋RキーでOKだ。このCTRLキー、Macの場合はコマンドキーになる。

画面上部のメニューをクリックしてサブメニューを見ると、それぞれ使用できるショーカットキーが表示されている。使いたいときはまずそれを見よう。

図8 対応キーの表示

今見ているページのソースが見れる。

カッコいいホームページを見たときは、どんなふうに作ったのかな？と気になるもの。このチカチカ点滅はどうやって作ったのかな、自分のホームページもこんなふうに作りたい。そんなときは、Viewメニューをクリックし、さらにその中のSourceを選ぼう。どんなふうにHTMLが書かれているか、その場で全部確認することができる。

気に入ったページのHTMLソースをファイルに保存することもできる。[File]ボタンを押して、Save Asで保存しよう。あとでエディタで表示させればだいじょうぶだ。

図9 View→SorceでHTMLソースを見る

©1994-2007 Impress R&D

ネットニュースを読む

Netscape Navigatorのディレクトリボタンのいちばん右側には、「Newsgroups」と書かれている。これはネットニュースを購読するときに使用するボタンだ。

ネットニュースを購読するには、ふつうWinVNやNewsWatcherなどニュースリーダーと呼ばれるアプリケーションを使用するが、Netscape Navigatorでも読むことができる。

「なにをそんなに無理しなくても」と思うかもしれないが、Netscape Navigatorの方が便利なときもある。

というのは、WWWサーバーの中にはネットニュースへのリンクが張ってあるページもあるからだ。このような場合、Netscape NavigatorのPreferenceでニュースサーバーのアドレスが設定されていると、自動的にそのサイトにアクセスして記事を表示してくれる。

もちろん、リンクをたどるのではなく通常のネットニュース購読と同じように、読みたいときにニュースサーバーにアクセスすることもできる。

●ニュースサーバーのアドレスを設定する。

LAN上でNetscape Navigatorを使っている場合には、システム管理者にニュースサーバーのアドレスを聞けばよい。またダイアルアップによってプロバイダーに接続している場合は説明書のどこかにニュースサーバーのアドレスがかかれているはずだ。

ニュースサーバーのアドレスがわかったら、それをPreferenceのMail and News設定画面にある「News（NNTP）Server:」という欄に書き込む。設定はこれだけだ。

●ニュースを購読する。

では、さっそくネットニュースを読んで見よう。

[Newsgroups]ボタンをクリックするとニュースサーバーへのアクセスが開始される。しばらくして、「Subscribed Newsgroups」と書かれた画面が表示されるはずだ（図10）。

最初から登録されているニュースグループは、画面からわかるように3つしかない。

そこで、購読するニュースグループを選択するために、まず全ニュースグループのリストをダウンロードしよう。[View all newsgroups]ボタンをクリックすると、「初めてニュースグループをダウンロードするのですこし時間がかかるがよいか？」という旨のメッセージが表示され、ここで[Yes]ボタンをクリックするとダウンロードが始まる。ダウンロードが終了すると、図11のようにニュースグループリストが表示される。ここで購読したいニュースグループを選択するわけだ。

ニュースグループを選択すると、記事のタイトル画面が表示される（図12）。ただし、現在のバージョンでは標題が漢字で表示できないのが残念だ。

読みたい記事の標題をクリックすると、やっと指定した記事が表示される。

ここで、もしその記事にフォローするなら、[Post Followup]アイコンをクリックしよう。フォロー記事を入力する画面が表示される（図13）。また必要によっては[Quote Document]ボタンをクリックして元の記事を引用することもできる。

フォロー記事ができあがったら、[Send]ボタンをクリックする。記事はニュースサーバーに送信され、一件落着となる。

図10 最初に表示されるネットニュース購読のための画面

図11 全グループリスト

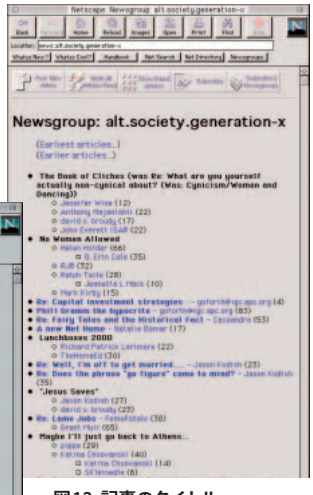


図12 記事のタイトル

図13 フォロー記事も入力できる

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

［インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ］ ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D（株式会社インプレスから分割）が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

http://i.impressRD.jp/bn

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレス R&D）、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D（当時は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先
株式会社インプレスR&D
All-in-One INTERNET magazine 編集部
im-info@impress.co.jp

Copyright © 1994-2007 Impress R&D, an Impress Group company. All rights reserved.